

## 「少年メッセージ2009」和歌山県大会

## 金賞受賞作品

## 『父と母への誓い』

田辺市立本宮中学校 1年 中島みゆき

もしもあと一ヶ月の命だと宣告されたら、あなたならどうしますか。

乳がんでずっと病院に入院していた長嶋千恵さんは、友達や家族の支えがあって最後の願いであった、最愛の彼、太郎さんとの結婚式を挙げる事ができました。そしてその数日後、千恵さんは息をひきとりました。

「余命一ヶ月の花嫁」を読んで、私は衝撃を受けました。自分よりも先に娘を亡くした千恵さんのご両親はとても悲しかったと思います。身内を亡くすということがどれだけ悲しいことかー。

私は逆の立場ですが、幼い頃に父と母を亡くしました。死んだ人は灰になります。残された人達はそれを見なければなりません。とても辛く悲しいことです。

私の父は、膵臓がんという病気で苦しみ、亡くなりました。私がおみまいに行った時は、父は辛さや苦しさは見せず笑顔でむかえてくれました。私はそんな父を見て「人間って大切な人のためならどんなに辛くても苦しくても笑顔でいられるんだな。」と思いました。

まだ幼かった私ですが、「人の死」の意味は分かっていた。父の前に母を亡くしていたからです。母は、私の妹となる子を産む時に亡くなりました。妹はおなかの中で、すでに死んでいたそうです。母は、私達姉妹の前で、ものすごい量の血を吐いていました。私は母の手をにぎってあげました。だけど、母はずっと苦しんでいました。そして亡くなりました。そんな母と父を見ていたからこそ「人が死ぬ」という意味が分かるのです。

そんな母や父の事を見て、私は医療関係の仕事に就きたいと強く思うようになりました。今はまだ具体的にどの仕事に就けるか分かりませんが、医療の現場で、病気と闘っている人の手助けをしたいと思います。私が思う医療の仕事は、悲しむ人を少なくして笑顔を増やす仕事だと思っています。そんな仕事だからこそ、たくさんの命を救ったり病気で苦しむ人を少なくできるのだと思います。

病院はもちろんケガや病気を治すところです。少しでも早く患者さんのケガや病気を治してあげるべ



きところ。でも、ケガや病気をした人は、同時に心にも傷を負っているのです。これはその患者さんだけではなく、その周りの人も負っている傷です。私は両方の傷のケアをできるようにになりたいと思います。

私は、自分が大きな病気にかかったわけではありません。でも父と母が目の前で苦しんでいるのをずっと、見ていました。心の傷は深い深い傷を負いました。苦しくて一生抜けだせないのかと思いました。私が身をもって体験したことを現場で活かしたいのです。親を亡くした子がいれば、話し相手になって、はげましてあげたい。未来にむけて背中を押してあげたい、そう思います。私にも必要だったように、きっとその子たちにも必要だと思うから——。悲しくて辛かったけれど、経験したことを無駄にせず、人々のために役立てたいです。みんなを笑顔にしてあげるのが私のつとめだと思います。

最近、自殺行為をする人が多くなりました。私は、自分で命を絶つ人の気持ちが分かりません。辛いのは分かりませんが、生きたいのに生きられない人の気持ちを考えれば、そんな命を粗末にするような行為はできないと思います。どんなに辛いことがあっても生きていれば必ず必要としてくれる人に出会えるかもしれません。でも命を絶てば絶対に出会えないのです。私は、そうやって自らの命を絶とうとしている人の命も救いたいです。難しいとは思いますが、それも悲しむ人を少なくするためです。

私は本当にこの世界中に笑顔があふれることを願います。

天国にいる父と母に誓ってー。

## 平成21年度 青少年リーダー活動等支援事業

各地域における元気な活動をサポートしています。

## 地域に根付いた団体にしかできない取り組みを

## 子どもクラブもちつき会

主催者：有田市地域活動連絡協議会  
 開催日：平成22年1月16日(土)  
 開催場所：有田市文化福祉センター

もちつき会は、当日の作業も当然のことながら、それまでの準備に多くの時間が費やされますので、大勢の皆さんの支援がなければ実施できません。参加していただいた青少年リーダーには、こうした事業に準備段階から携わったことにより、事業実施に向けての心構え、気配り、準備の仕方など体験したことで、リーダーとしての資質向上につながります。また、そうした経験を積んだことで、今後ボランティア活動を始め、地域の様々な活動に率先して参加していただけるものと思います。



## 胸キュンキャンプ in 白崎

主催者：御坊市子ども会育成会連絡協議会  
 開催日：平成22年2月27日(土)～2月28日(日)  
 開催場所：和歌山県立白崎青少年の家



集団生活やゲーム、野外調理体験等とおして、社会性や自主性を養うとともに豊かな心を育むことを目的として、1泊2日の宿泊体験事業を実施しました。企画及び運営は、計画段階からシニアリーダーズクラブ HOPE や日高地方ジュニアリーダーに参画してもらい、子ども達の目線に立った活動計画を作成することにより、リーダーとしての資質向上を目指しました。

日高郡内の小学生4～6年生の子どもを対象に35名の参加者募集を行い49名が応募、抽選で35名を選びました。ジュニアリーダー2名とシニアリーダー7名が参加し、企画・運営してくれました。参加した子どもたちは「大変

楽しかった」、「また参加したい」と感想を述べていました。

残念だったのは、2日目の計画がチリ沖地震による津波警報の影響で、予定を早め切り上げたことです。

## くちくまのリバースクール

主催者：上富田町青少年育成町民会議  
 開催日：平成21年6月30日(火)～平成22年3月31日(水)  
 開催場所：上富田町立上富田中学校他

カヌーをみんなで制作し、ふるさとの川である「富田川」を下る。

カヌーづくりをおして、みんなで作り上げる楽しさや達成感を味わうことにより、異世代間の交流を図るとともに、自主性や社会性を養い、青少年の健全育成を図りました。また、カヌー下り当日は、富田川の環境整備も行い美化活動の意識の向上も図り、郷土を愛する心も醸成しました。



## 潮岬おもしろらんど ー春祭りー

主催者：特定非営利活動法人潮岬おもしろらんど体験学習推進協議会  
 開催日：平成22年3月7日(日)  
 開催場所：和歌山県立潮岬青少年の家



感動・感嘆・関心の「三感」体感をコンセプトに、ピザ焼きやバルーンアートなどの各種体験ブースを設置しました。

関係機関や関係団体と連携を取りながら事業を実施することにより、地域交流や異世代間の交流を図りました。また、青少年リーダーには各種体験活動に関わってもらい、裏方業務に携わってもらうことで、事業実施に向けてのノウハウを身につけ、リーダーとしての更なる資質アップを目指しました。

## 小西博之氏からの命のメッセージ

あれから5年。  
今朝目覚めた時も、今日も生きてる！そんな日々。  
2004年12月27日、左腎臓ガンの告知。  
2005年2月16日手術。あれから5年！  
今も日々生かされていると、実感します。  
ただ、あの日見た光景は生涯忘れられないでしょう。日本医科大学の教室のあの…。丸山ワクチンを頂く前に、教室での説明。



小西博之さん

100人程の中の四分の一が、親子連れ。こんな多くの子供たちが、ガンで苦しんでる！必死に講義を聴く母親。子供の手を握り締めて。

私たちが今やらなければいけない事。それは、命の尊さを伝えて行くことではないでしょうか。何時の時代も子供たちは素晴らしいです。しかし今自ら命を絶つ子供たちが。

病気と闘う子供たちが増えているのに。我々大人の責任です。手本の大人の自殺！

さあ皆さん、生きていく素晴らしさを子供たちに、伝えて行きましょう。私たち大人が生きていく素晴らしさを、日々実感して行きましょう。私たちが和歌山から全国の大人たちの育成を、始めましょう！ 青少年育成には、そこからではないでしょうか。

## 平成21年度 青少年健全育成県民大会 ～未来に羽ばたく和歌山の青少年～

### 大人と青少年相互の信頼関係一絆一を築きあげることの大切さを改めて考えよう

平成21年11月7日(土)にビッグ愛大ホールにおいて、全国青少年健全育成強調月間における運動の一環として、県民の青少年健全育成に対する理解と自覚の促進を図る事を目的に開催しました。

### ～ネット社会に生きる子どもたち～

をテーマに浅井和行氏の講演及びパネルディスカッションの後、和歌山県児童合唱団の元気いっぱい歌声が披露されました。

約300名の参加があり、ネット問題の重要性について皆様方に考えて頂きました。



## 県民大会では各種表彰も行いました 感謝状及び表彰関係(敬称略・順不同)

### ◎青少年健全育成部門(個人)知事感謝状

奥田 雅晴 (和歌山市) 坂下 春美 (和歌山市) 坂本 善久 (海南市)  
澤田 幸秀 (紀の川市) 岩本 光行 (紀の川市) 谷福 良彦 (紀の川市) 奥 護 (串本町)

### ◎青少年健全育成部門(団体)知事感謝状

ボーイスカウト那賀第2団 (団委員長 三嶋 忠宏)

### ◎青少年補導委員会部門(個人)知事感謝状

森脇 俊視 (九度山町) 中田 厚子 (由良町) 奥村 弘次 (田辺市) 青木 正文 (田辺市)  
吉田 博 (日高川町) 野口 健三 (田辺市) 水野 晴夫 (新宮市) 南 宏和 (新宮市)

### ◎善行青少年部門(個人)知事感謝状

大家 万佑佳 (かつらぎ町)

### ◎社団法人和歌山県青少年育成協会(個人)会長表彰

岡田 由理 (和歌山市) 森本 千鶴子 (海南市) 新谷垣内 悦子 (紀美野町) 寺中 佐知子 (紀美野町)  
山口 純 (紀美野町) 小椋 孝一 (紀美野町) 中井 弘 (紀美野町) 堀 陽子 (橋本市)

### ◎社団法人和歌山県青少年育成協会(個人)会長感謝状

鳥居 近次 (有田川町)

## 平成22年度 青少年育成協会 主要事業予定

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	23(日) 24(月) 県民運動推進 委員研修会	12(土) 通常総会	31(金) 少年メッセー ジ	健全育 成事業 リレー 式次世 代		23(土) 青少年育 成 県民大 会		市町村 民会議 等 代表者 会議			
4～7月 和太鼓体験教室			7・8月※		6～9月 家庭の日作品募集			通年 リーダー活動支援事業・「家庭の日」啓発促進事業			

※夏の子どもを守る運動

## 平成21年度 新規会員さま (敬称略)

〈賛助会員〉 新宮市立少年相談センター 丸新産業株式会社  
 センゴクバンダー株式会社 株式会社ヤマヨテクスタイル 本当にありがとうございます

## 会員の募集について

(社)和歌山県青少年育成協会では、当協会の目的にご賛同いただける会員の方を募集しております。

ご協力いただきました会費は、青少年の健全育成・非行防止を目的とした各種事業に使わせて頂いております。また、会員の皆様方には「やまびこ」など当協会作成の冊子等をお届けするほか、総会パンフレットなどに会社名やお名前を掲載させていただきます。詳しくは、当協会までお問い合わせ下さい。

会費は 正会員 個人(年額) 2,000円  
 団体(年額) 5,000円  
 賛助会員(年額) 一口 10,000円

青少年育成協会は、会員の皆様からいただいた会費によって運営されています。よろしくお願いいたします。

## 編集後記

会員の皆さん今日は！ 青少年育成協会の活動が広く皆様に知って頂くために日々努めてございますが、なかなか思うようには参りません。育成協会事務局としては協会の活動事業がマンネリ化することなく、広く県民の皆様のご理解とご支持を得て、真に和歌山県の子ども・青少年達のために存在するよう、具体的に目に見えるような形で頑張っていきたいと考えてございます。

その一つとして本年度は、少年メッセージ県大会をテレビ番組(1時間)として放映する予定でございます。実施するに当たりまして多くの企業、人からご協賛頂きました。まだ世の中見捨てたものではない、この不況化、今の子ども・青少年達を何とか、大人の手でサポートしてやらなくという人がたくさんありました。協会としては本当に有り難く、心から感謝申し上げます。今後も事務局一丸となって進んで参りますのでご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

事務所がビッグ愛9階に移転しています!!